

投稿論文

【環境分野】

中国における土壤環境の現状

「環境新聞」 (2016)

大悟法弘充, 羽渕博臣 (環境事業部)

当社が中国において土壤環境事業を展開していること, 及び, 中国政府公表の「全国土壤汚染状況調査公報」(2014年4月), 「土壤汚染防止行動計画」(2016年5月末)について紹介した。(2016.11.16公開)

中国における土壤環境の制度を巡る情勢

「環境新聞」 (2016)

大悟法弘充, 羽渕博臣 (環境事業部)

中国中央政府発表の「土壤汚染防止行動計画」(2016年5月末)の要点, 及び, 各地方政府から発表された土壤環境に関する制度について紹介した。(2016.11.30公開)

中国における日系企業の土壤環境への対応

「環境新聞」 (2016)

大悟法弘充, 羽渕博臣 (環境事業部)

中国における土壤環境に関する規制強化の動きを受け, 中国に進出している日系企業へ土壤汚染の対応についての提言等を行った。(2016.12.19公開)

【電子分野】

Development of the molecular orientation analysis by soft X-ray absorption spectroscopy (soft XAS)

「LASTI Annual Report」 (兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所ニューズバル放射光施設関連サイト), 17, 77-78 (2016)

高橋永次, 今西克也, 末広省吾, 硯里善幸*1, 太田雄規*2, 村松康司*2 (技術開発センター,*1 山形大学,*2 兵庫県立大学)

ニューズバルでの軟 X 線 XAS 分析による有機薄膜材料 B3PyMPM の配向性評価を報告した。XAS 分析により, 薄膜中の分子配向性が計算でき, B3PyMPM 蒸着膜は水平配向性を示すことが判明した。有機エレクトロニクスデバイスにおける製法改良と性能向上に有効な分析法と言える。

【工業支援分野】

(第2章/第3節/第6項) メンテナンスの基本/HPLC・UHPLC装置/カラム

(書籍) 「LC/MS, LC/MS/MSのメンテナンスとトラブル解決」 (株オーム社 (監修: 公益社団法人 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会), 130-133 (2015)

西岡亮太 (大阪ラボラトリー)

HPLC, LC/MS 初心者向けの解説書において、光学活性カラムのメンテナンスや取扱方法等について分担執筆した。光学活性カラムを使用する上で、他の一般の LC カラムとは異なる注意事項、特に移動相として使用できる溶媒の制約や保存方法、カラムの保護等について、カラムの種類ごとにわかりやすく解説した。

Three-way catalytic performance of Y- and Pr-doped Rh/ZrO₂ and valence state change of Rh in lean/rich perturbation

「Catalyst Communications」 (Elsevier 発行) , 90, 1-4 (2017)

羽田政明*, 富田泰隆*, 高橋照央, 東 遥介, 藤本智成 (*名古屋工業大学, 技術開発センター)

希土類元素の添加により Rh/ZrO₂ 触媒の活性が変化した原因を、各種分析法により解析した。低濃度 Rh が分析可能なその場 (*in situ*) XAFS 法を開発し、これら触媒の評価を支援した。

【医薬分野】

バイオアナリシスにおけるカラムスイッチング法の有用性

「ぶんせき」 (公益社団法人日本分析化学会発行) , 1, 10-16 (2017)

牟田口国則, 山口 建, 島藤千那津 (大阪ラボラトリー)

バイオアナリシスにおけるカラムスイッチングの有用性について、概要及びアプリケーションデータを掲載して説明した。

口頭発表

【医薬分野】

コモンマーモセット創薬での橋渡し基盤整備：IH 試験前に実施すべき非臨床安全性評価試験 (GLP 試験) の整備

○本坊敏保, 大石久仁彦, 佐々木幹夫, 藤原 淳, 坂本憲吾, 田澁弘行, 斧研雅子, 西銘千代子*1, 井上貴史*1, 西中栄子*1, 井上 亮*1, 公平陽子*2, 田村恵梨子*2, 齊藤久美子*2, 仁井一夫*2, 野村成章*2 (㈱イナリサーチ, *1 公益財団法人実験動物中央研究所, *2 大阪ラボラトリー)

第 5 回日本マーモセット研究会大会 (東京慈恵会医科大学) , 2016 年 1 月 27 日-28 日

Translational Research for Infrastructure Development in Drug Discovery using Common Marmosets: Development of a Repeated Dose Toxicity Study Combined with Three Types of Safety Pharmacology Studies

○望月秀美, 大石久仁彦, 佐々木幹夫, 藤原 淳, 坂本憲吾, 田澁弘行, 斧研雅子, 佐藤伸一, 西銘千代子*1, 井上貴史*1, 西中栄子*1, 井上 亮*1, 仁井一夫*2, 公平陽子*2, 田村恵梨子*2, 松井誠一*2, 齊藤久美子*2, 野村成章*2 (㈱イナリサーチ, *1 公益財団法人実験動物中央研究所, *2 大阪ラボラトリー)

第 7 回日本安全性薬理研究会学術年会 (東京大学) , 2016 年 2 月 19 日-20 日

㈱住化分析センター主催セミナー

【医薬分野】

エクソソーム関連研究への支援サービス

落谷 孝広, 高橋昭博* (国立がん研究センター研究所, *技術開発センター)

第8回 JBF シンポジウム (タワーホール船堀 東京), 2017年2月9日